

※ 第一紙～第二紙 毘耶娑問經卷下

※ 第三紙～第八紙 仏説摩訶衍宝嚴經

(第一紙) T12p229a17～

- 1 「 」 仙 「 」
- 2 □ 四方縦広 「 」
- 3 林中有天宝珠以為燈 「 」
- 4 身懸幡枝上樹極柔^爽諸天見之心生愛樂
- 5 於彼林中吹笛拍手琵琶鼓等和合樂声在彼窟中
- 6 復次大仙彼天童子種種食力所謂揣食天飯善香能生天力^香色味等^等功德具足有天粳米名蓮華光自然而熟甜如□□種□味具足相応有二食盤一^是金盤一^是宝盤
- 7 隨彼天子所須飯食何者何等如是如是
- 8 彼彼飲食皆盤中生
- 9 復次大仙彼天爾時牟佉離汁生彼盤中即變名為^華阿娑婆彼有善香其汁清冷飲
- 10 則涼^變又復彼香令天童子醉樂怡適
- 11 復次大仙彼四大王子^隔宮殿周^市常有妙好華蔓多饒妙^華莊嚴殿柱以如是柱莊嚴
- 12 宮殿金宝金剛有勝天樹娑羅翅蔓上攀樹枝有百千柱床臥敷具莊嚴宮殿六万天女
- 13 在中行坐令彼宮殿端嚴勝妙彼女殊勝身相拳動皆可觀瞻天衣光明莊嚴其身妙声
- 14 環釧以姿其媚善香妙色欲心相応身極軟
- 15 弱歌^舞戲^咲恒常不絶多有姿媚兩兩共合

(第一紙) T12p229b11～

- 1 出美妙声与笛一音彼天宮殿如是具足復
- 2 次大仙彼天宮柱金宝間錯懸以繪幡処

1 爽^爽軟^軟【大】 大正蔵に校注なし。
 2 名為華^華為花名^為【大】 大正蔵に校注なし。
 3 變^變樂^樂【大】 大正蔵に校注なし。
 4 隔^隔隳^隳【大】 大正蔵に校注なし。
 5 市^市匣^匣【大】 大正蔵に校注なし。
 6 華^華花^花【大】 大正蔵に校注なし。
 7 舞^舞【大】 大正蔵に校注なし。
 8 咲^咲笑^笑【大】 大正蔵に校注なし。

- 3 垂下
- 4 復次大仙彼四大王受勝欲樂提頭頼吒毘
- 5 楼勒又毘楼博又拘毘楼等彼四大王在宮
- 6 殿中喜咲⁹歌舞¹⁰嘯咏等声天食充飽諸根喜
- 7 樂善愛意生彼処勝樂皆悉具受¹¹
- 8 復次大仙彼四大王天衆之中諸天童子長
- 9 臂洪直不僂不細行如醉象具丈夫力柔爽¹²
- 10 之身具足天相彼天行時則有勝香薰¹³一由
- 11 旬
- 12 復次大仙彼寿天年五百歲命无¹⁴中天傷彼
- 13 処勝樂一切具受開眼看視有喜愛相彼諸
- 14 天衆多有戲処謂蘓¹⁵婆伽茶迦之処迦曇婆
- 15 迦及毘摩羅光明莊嚴林王之処闍那迦等
- 16 勝戲樂処有如是等第一香処受用心喜彼
- 17 諸天子行彼処已華¹⁶珠金宝間錯階陞其階
- 18 方正勝妙莊嚴名宝珠階百千天女妙声歌
- 19 詠¹⁷珠宝樂器自然出声多受欲樂福盡命終
- 20 則有相現初則失影不聞華¹⁸香迦陵頻伽天
- 21 女妙声耳不復聞大仙当知又天衆中彼天
- 22 童子於天宮殿衆集之処至日不往彼宮殿
- 23 中百千天女樹生纓絡¹⁹有妙勝華²⁰俱翅羅声
- 24 吹²¹鳥之声林中具有心不生樂在地旋轉衣

(第二紙) T12p199a06~

- 1 梵志多諷誦法而不自除姪怒癡病亦復如
- 2 是譬如病人服王妙藥不自将節而致終没
- 3 如是迦葉多有沙門梵志行不如法起諸結

- 9 咲⁹笑【大】 大正蔵に校注なし。
- 10 舞¹⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 11 受¹¹足【大】 大正蔵に校注なし。
- 12 爽¹²軟【大】 大正蔵に校注なし。
- 13 薰¹³熏【大】 大正蔵に校注なし。
- 14 无¹⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 15 蘓¹⁵蘇【大】 大正蔵に校注なし。
- 16 華¹⁶花【大】 大正蔵に校注なし。
- 17 詠¹⁷咏【大】 大正蔵に校注なし。
- 18 華¹⁸花【大】 大正蔵に校注なし。
- 19 纓絡¹⁹纓珞【大】 大正蔵に校注なし。
- 20 華²⁰花【大】 大正蔵に校注なし。
- 21 吹²¹欲【大】 大正蔵に校注なし。

- 4 病終生惡趣亦復如是譬如摩尼珠墮不淨
- 5 中³²无³³所復直如是迦葉多有沙門梵志貪着
- 6 財利当知亦如摩尼珠墮不淨中³²无³³所復直
- 7 譬如死人着金³⁴華³⁵鬘如是迦葉人不持戒被
- 8 着袈裟亦復如是譬如長者子淨自澡浴被
- 9 白淨衣着³⁶瞻³⁷蔔華鬘如是迦葉多聞持戒被
- 10 着袈裟亦復如是復次迦葉有四不持戒似
- 11 如持³⁸云何為四若有比丘護持禁戒成就威
- 12 儀至微小事³⁹常⁴⁰畏懼之持比丘⁴¹戒⁴²淨⁴³成就威
- 13 儀礼節身口意行正令清淨而計吾我是謂
- 14 迦葉一不持戒似如持戒復次比丘誦律通
- 15 利⁴⁴密⁴⁵任律法不断身見是謂迦葉二不持戒
- 16 似如持戒復次比丘行慈衆生聞說諸法不
- 17 起不滅而懷恐怖是謂迦葉三不持戒似如
- 18 持戒復次比丘行十二法淨功德行而起見
- 19 我有我所以謂迦葉四不持戒似如持戒如
- 20 是迦葉戒称戒者謂⁴⁶无⁴⁷我亦⁴⁸无⁴⁹我所⁵⁰无⁵¹作不
- 21 作⁵²无⁵³事非事亦⁵⁴无⁵⁵威儀⁵⁶无⁵⁷行不行⁵⁸无⁵⁹名色相
- 22 亦⁶⁰无⁶¹非相⁶²无⁶³息⁶⁴无⁶⁵息⁶⁶无⁶⁷取⁶⁸无⁶⁹捨⁷⁰无⁷¹可取者亦
- 23 无⁷²不可捨不施設⁷³无⁷⁴衆生⁷⁵无⁷⁶

- 22 无⁷⁷无⁷⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 23 无⁷⁹无⁸⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 24 華⁸¹花【大】 大正藏に校注なし。
- 25 瞻⁸²蔔【大】 大正藏に校注なし。
- 26 【戒】+【大】
- 27 常⁸³当【大】 大正藏に校注なし。
- 28 戒⁸⁴淨⁸⁵淨戒【大】
- 29 密⁸⁶察【大】
- 30 无⁸⁷无⁸⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 31 无⁸⁹无⁹⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 32 无⁹¹无⁹²【大】 大正藏に校注なし。
- 33 无⁹³无⁹⁴【大】 大正藏に校注なし。
- 34 无⁹⁵无⁹⁶【大】 大正藏に校注なし。
- 35 无⁹⁷无⁹⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 36 无⁹⁹无¹⁰⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 37 无¹⁰¹无¹⁰²【大】 大正藏に校注なし。
- 38 无¹⁰³无¹⁰⁴【大】 大正藏に校注なし。
- 39 无¹⁰⁵不¹⁰⁶【大】
- 40 无¹⁰⁷无¹⁰⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 41 无¹⁰⁹无¹¹⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 42 无¹¹¹无¹¹²【大】 大正藏に校注なし。
- 43 无¹¹³无¹¹⁴【大】 大正藏に校注なし。
- 44 无¹¹⁵无¹¹⁶【大】 大正藏に校注なし。

24 有口行无⁴⁶不口行无⁴⁷、心不心无⁴⁸、倚不倚无⁴⁹、戒
25 不戒是謂迦葉无⁵⁰漏聖戒而无⁵¹所墮出於三

(第四紙) T12p199b03~

- 1 界離一切倚於是世尊說此頌曰
- 2 持戒不有亦无⁵²垢 持戒无⁵³憍而不倚
- 3 持戒无⁵⁴闇无⁵⁵所縛 持戒无⁵⁶塵无⁵⁷污穢
- 4 究竟止息无⁵⁸上寂 千⁵⁹想不想亦无⁶⁰穢
- 5 諸慟衆倚一切斷 是為迦葉持仏戒
- 6 不着身口不倚命 不貪一切受生死
- 7 以政⁶¹去來住政⁶²道 是為迦葉持仏戒
- 8 不着世間不倚世 得明无⁶³暗⁶⁴无⁶⁵所有
- 9 无⁶⁶有己想无⁶⁷他相 断一切想得清淨
- 10 无⁶⁸此彼岸无⁶⁹中間 於此彼岸亦不着
- 11 无⁷⁰縛无⁷¹詐无⁷²諸漏 是為迦葉持仏戒
- 12 謂名及色意不着 禪定政⁷³念調御心

45 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 46 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 47 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 48 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 49 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 50 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 51 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 52 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 53 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 54 无||不【大】 大正藏に校注なし。
 55 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 56 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 57 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 58 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 59 千||无【大】 大正藏に校注なし。
 60 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 61 政||正【大】 大正藏に校注なし。
 62 政||正【大】 大正藏に校注なし。
 63 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 64 暗||闇【大】 大正藏に校注なし。
 65 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 66 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 67 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 68 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 69 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 70 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 71 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 72 无||无【大】 大正藏に校注なし。
 73 政||正【大】 大正藏に校注なし。

- 13 无⁷⁴有吾我⁷⁵我所 是為迦葉称住戒
- 14 不倚禁戒得解脱 不叩持戒為歡喜
- 15 於此上求人正道 是謂持戒清淨相
- 16 不期持戒不依定 謂脩⁷⁶習此得智慧
- 17 无⁷⁷有⁷⁸得是聖性 清淨聖戒仏所称
- 18 謂己身見心解脱 我是我所終不起
- 19 心能解空仏境界 如是持戒莫能勝
- 20 善住淨戒得禪定 已獲禪定脩⁷⁹智慧
- 21 已脩⁸⁰智慧便得脱 已⁸¹速⁸²解脱平等戒
- 22 說此偈已八百比丘⁸³速⁸⁴得漏盡三万二千人
- 23 遠塵離垢諸法⁸⁵眼生五百比丘昔已得定
- 24 聞仏說此甚深之法不能解了從⁸⁶坐⁸⁷起去於
- 25 是大迦葉白世尊曰此五百比丘昔已得定聞是

(第五紙) T12p199b29~

- 1 深法不能解了即便起去世尊告大迦葉曰
- 2 此五百比丘貢高慢故不能解此无⁸⁸漏淨戒
- 3 是所說法甚深微妙諸仏之道極甚深妙非
- 4 是未種善根与惡知識共相隨者所能解了
- 5 此五百比丘昔迦葉如来興出世時悉為異
- 6 学弟子聞迦葉如来說法時計着有故一聞
- 7 說法心得歡喜以是因緣身壞命終生忉利
- 8 天從彼命終還生人間於我法中出家学道
- 9 此諸比丘為見所壞聞是深法不能解了今
- 10 始造緣不復生於惡趣之中此身終已当得
- 11 滅度於是世尊告尊者須菩提曰汝去化彼
- 12 五百比丘須菩提白仏言唯世尊此五百比

74 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 75 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 76 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 77 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 78 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 79 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 80 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 81 「速?」の右傍に「速」(朱書)あり。
 82 「速?」の右傍に「速」(朱書)あり。
 83 【法】一【大】 大正蔵の校注には「法+(法)〈聖〉*」とある。
 84 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。
 85 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 丘不受仏教何況我耶⁹⁵。是世尊化作比丘在
- 14 彼道中五百比丘見已往詣化比丘所問化
- 15 比丘曰諸賢欲何所至化比丘曰欲詣山澤
- 16 遊住安樂所以者何向聞世尊所說法我
- 17 不能解了故即言諸賢我等亦聞世尊說法
- 18 不能解了而有恐怖欲⁹⁶諸⁹⁷山澤遊住安樂化比丘
- 19 曰諸賢且來當共誼計莫得有諍非沙門法
- 20 諸賢稱說般泥洹者為何等法般泥洹耶是
- 21 身中何者衆生何者我人壽命謂般泥洹何
- 22 所法盡便得般泥洹五百比丘曰淫⁹⁸怒癡盡
- 23 便得般泥洹化比丘問曰諸賢有淫⁹⁹怒癡盡
- 24 耶而言此盡便得般泥洹五百比丘答曰諸賢
- 25 淫怒癡者不在於内而不在外亦不在両中

(第六紙) T12p199c25~

- 1 間亦非无⁹⁰思想而有也化比丘曰是故諸賢不
- 2 当思想亦莫⁹¹及⁹²想若不思想不及⁹³想者則无⁹⁴染
- 3 不染若无⁹⁴染不染者是説息寂諸賢当知所
- 4 有戒身亦不生亦不般泥洹定慧解脫度知
- 5 見身亦不生亦不般泥洹諸賢因此五分法
- 6 身説泥洹者是法遠離空无⁹⁵所有无⁹⁶取无⁹⁷断
- 7 如是諸賢云何可想般泥洹耶是故諸賢莫
- 8 想於想莫想於无⁹⁸想亦莫断想及与无⁹⁹想若
- 9 断想无¹⁰⁰想者是為大縁諸賢若入想知滅定
- 10 者於是似有所作説此法時五百比丘諸漏

86 【於】+【大】

87 諸¹⁰¹詣【大】 大正蔵に校注なし。「諸」の右傍に「詣」(朱書)あり。

88 淫¹⁰²姪【大】 大正蔵の校注には「姪¹⁰³淫¹⁰⁴(聖)*」とある。

89 淫¹⁰⁵姪【大】 大正蔵に校注なし。

90 无¹⁰⁶无【大】 大正蔵に校注なし。

91 及¹⁰⁷反【大】 大正蔵の校注には「反¹⁰⁸及¹⁰⁹(聖)*」とある。

92 及¹¹⁰反【大】 大正蔵に校注なし。

93 无¹¹¹无【大】 大正蔵に校注なし。

94 无¹¹²无【大】 大正蔵に校注なし。

95 无¹¹³无【大】 大正蔵に校注なし。

96 无¹¹⁴无【大】 大正蔵に校注なし。

97 无¹¹⁵无【大】 大正蔵に校注なし。

98 无¹¹⁶无【大】 大正蔵に校注なし。

99 无¹¹⁷无【大】 大正蔵に校注なし。

100 无¹¹⁸无【大】 大正蔵に校注なし。

- 11 永盡心得解脫即詣仏所稽首仏足却坐一面
- 12 於是尊者須菩提問諸比丘曰諸賢向去何
- 13 所今從何來諸比丘曰尊者須菩提仏所説
- 14 法无去无來須菩提復問諸賢師為是誰諸
- 15 比丘曰謂不生不滅是須菩提復問云何知法答
- 16 曰无縛无解須菩提復問云何知法答曰无
- 17 縛无解須菩提復問无諸賢云何解脫答曰无
- 18 明滅而明生也須菩提復問諸賢誰弟子
- 19 耶答曰謂如是得如是正智須菩提復問諸
- 20 賢何等无當滅度耶答曰如來所化般泥洹須
- 21 菩提復問諸賢所作已辦耶答曰吾我所作
- 22 悉皆已斷須菩提復問諸賢誰同梵行答曰
- 23 不行三界須菩提復問諸賢結已盡耶答曰
- 24 諸法至竟滅須菩提復問諸賢降伏魔耶答

(第七紙) T12p200a20~

- 1 曰諸陰不可得須菩提復問諸賢順尊教耶
- 2 答曰无身口意須菩提復問諸賢清淨福田
- 3 耶答曰无受亦无所受須菩提復問諸賢
- 4 度生死耶答曰无常无斷須菩提復問諸
- 5 賢向福田地耶答曰一切諸着悉已解脫須
- 6 菩提復問諸賢趣何所耶答曰隨如來之所化
- 7 也如是尊者須菩提問五百比丘答時彼大
- 8 衆聞已八百比丘諸漏永盡心得解脫三万
- 9 二千人遠塵離垢諸法法眼生於是尊者須
- 10 菩提白世尊曰甚奇甚特此宝嚴經饒益衆
- 11 起趣摩訶衍諸族姓子族姓女須菩提復問

101 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 102 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 103 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 104 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 105 【云何知法答曰无縛无解須菩提復問】一【大】
 106 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 107 等||時【大】 大正蔵に校注なし。
 108 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 109 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 110 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 111 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 112 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 113 【法】一【大】

- 12 世尊諸族姓二女說此宝嚴經者得幾所福世
- 13 尊答曰若族姓子族姓女說此宝嚴經教授
- 14 他人書写經卷在所着処是為天上天下最
- 15 妙塔寺若從法師聞授115持116誦書写經卷者当
- 16 敬法師為如來若敬法師供養奉持者我
- 17 記彼人必得三上正道命終之時要見如來
- 18 是118当得十種身清淨云何為十一者死時歛樂119无120
- 19 厭二者即自121不乱三者手不擾乱122五者身不煩
- 20 擾六者不失大小不淨七者心不污穢八者心
- 21 不錯乱九者手不摸空十者隨其坐命終是
- 22 謂十種身清淨也復次迦葉当得十種口清
- 23 淨云何為十一者善音二者冥123音二者樂音
- 24 四者愛音五者柔和音六者无尋124音七者敬音

(第八紙) T12p200b17~

- 1 八者受音九者天所受音十者仏所受音是謂
- 2 十種口清淨也復次迦葉当得十種意清淨
- 3 云何為十一者无125恚不怒他人二者无126恨不
- 4 語三者不求短127四者无128結縛五者无129顛倒想
- 5 六者心无130懈怠七者戒不放逸八者意樂布施
- 6 歡喜受九者離貢高慢十者得三昧定獲一
- 7 切仏法是為十種意清淨也復次迦葉若有
- 8 恒沙国土滿中七宝供養如恒沙等諸仏如
- 9 來等正覺及弟子衆如恒沙劫一切施安至

114 【子族姓】+【大】

115 授二受【大】

116 【讀】+【大】

117 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

118 【人】+【大】

119 樂二喜【大】 大正蔵に校注なし。

120 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

121 即自二眼目【大】

122 【四者心不擾乱】+【大】

123 冥二軟【大】 大正蔵に校注なし。

124 无尋二無礙【大】 大正蔵に校注なし。

125 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

126 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

127 短二短【大】 大正蔵に校注なし。

128 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

129 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

130 无二無【大】 大正蔵に校注なし。

10 般泥洹後起七宝塔不如是族姓子族姓女聞
 11 此宝嚴經受持諷誦為他人說不誹謗也若
 12 有女人說此經者是女人終不墮惡趣亦不
 13 復受女人身也復次迦葉若有族姓欲以一
 14 切珍妙供養此經典者當受持誦誦書寫
 15 經卷為他人說是為供養此經典已若有
 16 受持諷誦書寫為人說者則為供養諸仏如
 17 來仏說此經時尊者大迦葉一切天龍鬼神
 18 世間人民聞仏說已歡喜奉行

19 仏說摩訶衍宝嚴經¹³¹

20 皇后藤原氏光明子奉為
 21 尊孝贈正一位太政大臣府君
 22 尊妣贈從一位橘氏大夫人敬
 23 写一切經論及律莊嚴既了伏

(第九紙)

1 願憑斯勝因奉資冥助永庇
 2 菩提之樹長遊般若之津又
 3 願上奉 聖朝恒延福寿下
 4 及寮采共盡忠節又光明子
 5 自發誓言弘濟沈淪勤除煩障
 6 妙窮諸法早契菩提乃至伝灯
 7 無窮流布天下聞名持卷獲福
 8 消災一切迷方会帰覺路

天平十二年五月一日記

12 (後補軸付紙)

11 大正六年十月修理之

10 帝室博物館総長股野 琢 (花押)

尾題部分に印記あり。

董事奈良帝室博物館長久保田鼎（花押）